

輸送

国内ではマルチモーダル統合、国際的には自由化市場への拡大を

原題：Integration at home, liberalisation abroad
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.172 No.4 (2016-4) pp.30-32

FS (イタリア鉄道) は会社の方針を鉄道運営という伝統的な役割からマルチモーダルな輸送企業へと転換し、鉄道と道路の統合を提供しなければなりません。イタリアは高速鉄道網において接近戦を行っている世界唯一の国です。Trenitaliaを含めてすべての関係者にとって、競争はポジティブなものです。まもなく我々は350km/h運転を承認することになります。ヨーロッパ高速鉄道サービスへの参入にはKVB列車制御が障害になっています。また、地域公共輸送では、鉄道とバスの料金、情報共有などの統合を進め、貨物輸送は道路から鉄道へとモーダルシフトを図っていきます。



出典:Railway Gazette International
TrenitaliaのETR1000の編成

輸送

鉄道の研究開発はスキルと方向性を必要とする

原題：Railway research needs skills and direction
誌名：RGI：Railway Gazette International Vol.172 No.5 (2016-5) pp.30-33

ロンドンのインペリアルカレッジにある未来鉄道研究センターのRoderick Smith教授が、鉄道の研究開発についてインタビューに答えました。教授は、現在の鉄道は建設および運営のコスト低減のニーズが大きく、研究開発戦略策定にもそれを考慮する必要がありますが、まずは鉄道を深く理解している熟練した職員の養成が重要であると語りました。また、車上Wi-Fiやネットでの予約と発券などが話題になりますが、より重要なことは信頼性の高い鉄道の実現、言い換えれば列車の遅れを減らすことを効率的なコストで行うことであると述べました。



出典:Railway Gazette International

中国では現在、高いレベルでの鉄道技術研究が行われており、信号メーカーのDimetric社 (現在はシーメンス社の傘下) は列車制御システムの試験センターを建設した

電力

ドイツの鉄道電力供給

原題：Bahnenergieversorgung in Deutschland
誌名：ETR：Eisenbahntechnische Rundschau Vol.65 No.5 (2016-5) pp.45-52

DBエネルギー社は、DB (ドイツ鉄道) に単相交流16.7Hzの駆動電力を、他の鉄道運行会社には直流および50Hz交流電源を照明・機器用に、またディーゼル燃料も供給しています。それはドイツにおける最大のエネルギー供給会社のひとつであり、自社で110kV/16.7Hzの高圧網を有しています。年間発電量は10GWh、ディーゼル燃料は4億3,000万リットルを上回っています。本記事には、鉄道電力の歴史、16.7Hzの由来、高圧配電網、静止型インバーター、コンピューターによる管理センターなどが記述されています。



出典:Eisenbahntechnische Rundschau

ベルリン・ドレスデン線とライプチヒ・コトブス線が交わる都市であるDoberlug-Kirchhainにおける静止型インバーター

信号通信

国境通過用ETCSレベル1の導入に対する技術と規制の側面

原題：Technische und regulatorische Aspekte einer grenzüberschreitenden ETCS-L1-Ausrüstung am Grenzübergang Kleinbittenen - Autelbas
誌名：SD：SIGNAL+DRAHT Vol.108 No.5 (2016-5) pp.13-18

国境を越えてスムーズに列車を運転するためには、国境の両側で使用されるのと同じインタフェースの文書を持つことが重要です。個々の鉄道インフラ管理者が持っている仕様の詳細を、ひとつの文書にまとめています。共通インタフェース文書は、このようにプロジェクトの計画の基本的な文書と国境通過の認証、およびCSM (一般的な安全法) の入力などとして機能します。本記事では、クラインベッティングェン〜オーテルバス間の国境通過における設備とインタフェース文書が簡潔に記述されています。



出典：SIGNAL+DRAHT

クラインベッティングェンに進入するための場内信号機であるW938とW937が備えられているルクセンブルグへの国境を望む



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合せ (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp